

平成２９年度全国学力学習状況調査報告を受けて

国語はすべての項目で全国平均を上回っています。全体的なバランスを見ると、昨年と同様に伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項及び話すこと、聞くこと、選択式、短答式の結果が他の項目と比べるとやや低い傾向にあります。この結果、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す設問にやや苦手意識が見られます。

数学も全体的に平均より高い結果となりました。記述式の問題等の結果が昨年と同様に高く、本校ではこのようなじっくりと考えて取り組む問題を得意とする生徒が多いようです。しかし、短答式や選択式の問題は全国平均を上回っていますが、記述式に比べると低い傾向にあります。これは良く考えずに問題を解いてしまい、単純なミスが多くなったと考えられます。昨年に比べると全体的に今年度は下回っているところが多いです。